



横浜市立松本中学校 学校だより

第2号

令和6年 5月 30日
横浜市立松本中学校

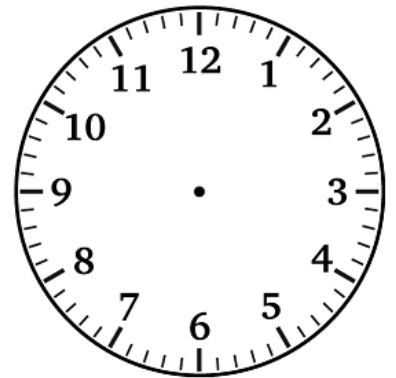
時は自分で刻む

校長 間邊 浩二

今から4年前、2020年(令和2年)6月10日の新聞に掲載されていたある時計メーカーの広告。紙面の両面に中央に針のない文字盤だけの時計が配置され、次の言葉が書かれていました。

「今日は100回目の時の記念日。『あなたの時間』について考える日。」とありました。

(その日は1920年に制定された時の記念日からちょうど100年目にあたりました。4年前といえば新型コロナウイルス感染症防止のための緊急事態宣言が解除され、学校も再開されていた頃でした。)そして次の文面も書かれていました。(一部省略)



あの時、すべてが止まったけれども、時間だけは動き続けていました。空間がどれだけ断絶しても私たちは時間というかけがえのないものでつながっていました。さらに、これまで会社や学校といった他者に管理されるものだった時間が、自分の手の中に戻ってきています。

自分の意志で自由に扱える時間が増えていきます。その結果、私たちは根本的な生き方を見つめ直しています。日々の豊かさ。家族と自分。時間とは追われるものではない。一人ひとりの中にあり、一人ひとりが刻むもの。この先どうなるか、まだまだわからないけれど。どうかすべての人が、自分自身のかけがえのない時間を過ごせますように。

時はあなたが刻む。

緊急事態宣言によって、日本全体の活動が止まってしまったような状況がありました。しかし、一方では時間が止まるどころか、時間を振り返る間もなく働き続けている方々もたくさんいました。医療従事者の方々は感染者が増え続ける状況の中で懸命に働いていました。さらに私たちの日常の食料や衣料などを滞りなく運搬し、それらを店頭で販売してくれる方々など、医療、輸送、物流、その他数え切れない人々によって私たちの生活が支えられていたことも再認識しました。

先ほどの広告の文にあるように、私たちは会社や学校など自分が所属する他者によっていつの間にか時間が管理され、その中で生活することにすっかり慣れてしまっていたのです。「時間がないから、余裕ができたらしよう。」とか「〇〇をしたいけれど、今は時間がないからいつかしよう。」など、時間に管理されていることに気付かずに、つい言い訳をしてしまう自分がいることも明らかになりました。

今をどのように過ごし、そして自分の周りの人とどのように関わっていくのか。時間に追われるのではなく、自分で時間を作り積極的にコントロールしていくことこそ、これからの私たちの役割なのかもしれません。

時は流れるのでもなく流されるものでもなく、自分で刻む。

(新型コロナウイルスが5類に設定され1年が過ぎました。感染対策の緊張感は収まりましたが、油断することなく健康に気をつけて過ごしていきましょう。)



令和6年度 横浜市立松本中学校学校配当予算執行計画

① 学校運営費

(単位:円)

費 目	配当額	執行計画額	主な執行内容
報償費	280,000	170,000	教育活動外部講師への謝金等
消耗品費(その他)	8,285,000	9,307,856	教材・教具、紙、印刷用品、保健、管理、事務関係消耗品等
消耗品費(図書費)	1,042,000	912,000	生徒用図書
食糧費	50,000	10,000	来賓接遇茶等
印刷製本費	134,000	40,000	公用封筒印刷等
修繕料	148,000	80,000	教材教具修繕、学校管理備品修繕等
通信運搬費	119,640	260,000	郵券、校外活動に関わる生徒の交通費等
手数料	100,000	371,600	図書装備代、ピアノ調律等
委託料	137,000	360,800	粗大ごみ処分料等
使用料及び賃借料	942,400	360,800	生徒搬送時のタクシー代、図書システム使用料等
庁用器具費(旧学用器具費)	2,241,000	1,200,000	教材・教具、事務関係備品等
図書購入費(旧図書費)	100,000	100,000	生徒用図書
負担金等	24,000	4,400	中学校教育研究会会費等
施設小破修繕料	774,416	1,200,000	校舎・各種設備修繕、窓ガラス修繕
施設小破手数料	30,000	30,000	校舎・各種設備修繕
施設小破委託料	50,000	50,000	校舎・各種設備に関する業務委託料
校地小破修繕料	87,826	87,826	校庭校地に係る修繕
計	14,545,282	14,545,282	

② 学校管理費

費 目	配当額	執行計画額	主な執行内容
燃料費	95,000	95,000	暖房用灯油
計	95,000	95,000	

③ 旅費

費 目	配当額	執行計画額	主な執行内容
旅費(教職員)	1,598,000	1,551,000	教職員旅費
旅費(会計年度職員)	4,000	4,000	教職員(会計年度任用職員)旅費
企画料	53,000	35,000	自然教室・修学旅行等の企画料
タクシー借上げ料	15,000	80,000	教職員の出張に係るタクシー借上げ料
計	1,670,000	1,670,000	

松本中学校部活動について

1年生の本入部も始まり、新年度の部活動が13の部活動で本格的にスタートをしました。夏の大会や発表会に向けて部活動に励んでいきます。

◎部活動一覧

運動部（グラウンド部活）	野球部	サッカー部	ソフトテニス部	陸上競技部
運動部（室内）	女子バレーボール部	バスケットボール部	バドミントン部	
	体操部	剣道部		
文化部	吹奏楽部	美術部	フラワーアレンジ部	演劇部

本校部活動は以下のような目標や方針をもって松本中学校は活動しています。

【部活動の意義・目的】

- (1) 教育の一環として部活動を奨励し、顧問（本校教職員に限る）・生徒・保護者の理解と協力のもとで活動する。また、部活動を通じて、豊かな人間性とたくましく生き抜く力をはぐくみ、調和のとれた学校生活の実現を目指す。
- (2) 部活動は学年、能力、性別の区別なく同じ趣向をもつ者の集まりである。この集団活動を通して、自己の長所を啓発し個性豊かな人間を育成し、松本中学校の生徒として、自信と誇りのもてる人間になることを目的とする。

【部活動のねらい】

- (1) 生徒が自分の興味や関心に応じて自主的、自発的に活動する中で、個性を伸張し、社会性や豊かな人間性とたくましく生きる力を育む。
- (2) 生徒相互や指導者との好ましい人間関係の構築を図り、自らの目標達成に向けて粘り強く挑戦し続ける態度を育てる。
- (3) 自分の夢や目標に向かって努力することや挑戦することで、喜びや悔しさ、満足感や充実感、達成感を得られるようにする。
- (4) 活動を通して、共に認め合い、仲間や顧問と、深い信頼関係を築くとともに、礼儀や挨拶、ルールやマナーを守る習慣を身に付けることができるようにする。

【活動方針】

- (1) 生徒が自ら選んだ活動に対して、3年間続けることができるように支援する。
- (2) 主体的に活動する力を育成するために、部員が自ら目標設定や振り返りができるように支援する。
- (3) 活動を通じて、自分の強みや良さを生かし、自分の取組の成果を大会やコンクール、行事等で発揮できるように支援する。
- (4) 適切な活動時間内において、活動の質を高め、効率的・効果的な活動を行うことで、集中力を育成し、日常生活に生かすことができるように支援する。
- (5) 安全に十分配慮し、安心して活動できるように支援する。

<保護者の皆様へのお願い>

5月8日より感染症に関する位置付けが変わったことにより、保護者の皆様の観戦等に関する規制が緩和されますが、来校・観戦についてのルールは会場により様々です。顧問に確認の上、生徒の活動に支障のないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

【6月の行事予定】

日	曜	行事	日	曜	行事
1	土		16	日	
2	日	開港記念日	17	月	1学期期末テスト①
3	月		18	火	1学期期末テスト②
4	火	一斉下校14:35 総下校14:55	19	水	1学期期末テスト③
5	水		20	木	
6	木	2年歯科検診	21	金	
7	金	3年進路説明会／1年校外学習（足柄）	22	土	
8	土		23	日	
9	日		24	月	3年歯科検診
10	月		25	火	
11	火		26	水	一斉下校12:35 総下校12:55
12	水	1学期期末テスト前部活動休止期間	27	木	耳鼻科検診
13	木		28	金	1,2校時生徒総会
14	金	放課後学習会14:45～15:35	29	土	
15	土		30	日	

【電話連絡】

朝8:30～40 は、職員打合せをしておりますので、学校への電話連絡は、この時間を避けておかけください。

（生徒完全下校の30分後を目安に留守番電話にさせていただきます、）

【門の施錠】

《 正門 》：登下校時間帯は開門。それ以外は閉門しますが、施錠はしません。

《 神大寺門 》：登下校時間帯は開門、それ以外は閉門、施錠をします。登下校時以外のご来校の際は正門をご利用ください。

